

# 2022年度 年次報告書



## ▶Mission

- 子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶ場所を作ります
- 子ども達が多くの人に触れ、自ら育つことを見守ります
- プレーパークでは子どもも大人も自然体に関わり、遊び、交わります
- 遊びの大切さと意義を社会に伝えていきます

## ▶Vision

- 子どもが太陽と土と風のもとでたっぷりと遊び、豊かな「子ども時代」を過ごす社会
- 子どもが「やってみたい」ことに挑戦し、安心して失敗ができる地域
- 子どもが地域社会で人とつながりながら育つコミュニティ



# 1.活動報告

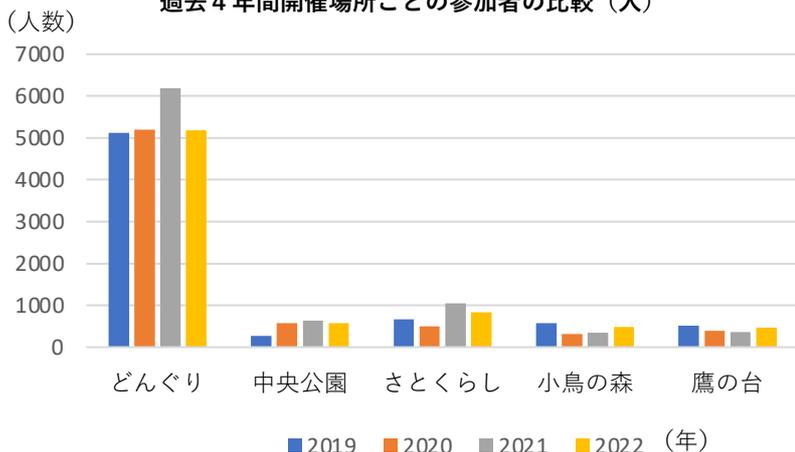
## (1) 冒険遊び場プレーパークの開催

### 四街道市プレーパーク事業受託

定期開催を年間**164日**。延べ**7,545人**の参加がありました。  
スタッフ、サポーター人数は延べ**644人**。

	どんぐりの森	中央公園	さとくらし公園	小鳥の森	鷹の台公園	合計
開催日数	122	10	10	12	10	164
延べ参加人数	5176	581	839	477	472	7545
累計スタッフ/ サポーター人数	575	26	15	12	16	644

過去4年間開催場所ごとの参加者の比較(人)



### ＊和良比どんぐりの森

毎週月曜日(10時～17時)、毎週金曜日(13時半～17時)、毎月第1・3土曜日 ※金曜日の午前中は開催しなかった



この一年は新型コロナへの対応も緩和され、少しずつではありますがいつものどんぐりの森に戻ってきたように思います。参加者も増えてきて土曜日は100人を超えることもあります。市外からの参加や特にパパの参加が増えて継続してお手伝いや見守りなど協力してくれました。土曜日は大学生のプレイワーカーがいるので年の近いお兄さんと遊びたい子たちが集まっています。

平日の午前中は穏やかな雰囲気です。未就園児親子が森を利用しています。特に今年度は平日の利用は増えて、お友達を誘ってきて定着していくことが多くあり特に近隣から気軽に森に遊びに来る親子が増えました。

近隣からの参加が増えたことで気軽に森に遊びに来る親子が増えました。親たちも森でおしゃべりしたりたき火でいろいろ食べ物を焼いてみたりと楽しそう。大人も楽しい場所は子どもたちも楽しい。どんぐりの森には自分のやりたいことを思いっきり遊べる環境があります。真冬の寒さも気にせずに水遊びする子がいたり、たき火でひたすら枝を燃やしたりと子どもたちが自分で考えてやってみたいことを実現できました。

子どもたちがイチから考えお店を作り上げていく子ども商店街のような森まつりの開催がありました。参加した子はそれぞれ手作りのゲームや商品でお菓子の通貨で仕組みを作り遊びとしてお店を楽しみました。またやりたい!との声があり1年で2回(2022年3月と9月)の森まつり開催はどんぐりの森の歴史でも初めてだったと思います。

中高生も部活の休みの時や早く学校が終わったときにはバスケットボールなど楽しんでいました。小学生たちのドッジボールに入って遊ぶ姿もみられ、多世代の交流がよく見られました。少し大きい子たちは最近の出来事や悩み事や愚痴などワーカーと話すことを目的で来ている場面も多く、遊び場であり子どもたちが心を開放できる居場所的な要素もあり今の時代には必要な場所だと感じます。森は休息の場でもあります。

またオーストラリアから長期休みで1か月間森に遊びに来ていた姉弟は日本の子たちとは遊びを通じて交流ができたのが良かったです。子どもたちにとって遊びがあれば言葉は必要ない、言葉が通じなくても一緒に遊べもうお友達という感じで大人たちよりもすぐに打ち解けていたのが印象的です。

森でたくさんの方が繋がり、自分たちも楽しみながら子どもたちを温かく見守ってくれる大人がいて、そして子どもたちがやってみたいことをとことんできる場が身近にある環境で体験の中で成長していく場にもなっていると思います。

### 《今後》

金曜日の午前中がいろいろな事情で時間を短縮したのは残念でしたが子どもたちは今を生きています。気軽に遊びに来たり、ふと思い出したときに戻ってこれる場を続けていきたいと思っています。

## ＊中央公園 第1木曜 4月～12月、3月開催

絵の具を使ったお絵描きが好評です。外遊びなら多少の汚れも気にせず遊べるハードルの低さから、のびのびとお絵描きを楽しむお子さんを保護者が見守る様子が良く見かけられました。大型遊具広場の片隅で虫博士の小学生がハンミョウ探しに夢中になった日もありました。市内中心部での虫の捕獲は予想外に楽しく、何とかして捕まえようと必死で頑張っていました。小学生には出張プレーパークが定着してきました。ロープ遊具を自分で取り付けていく子や、板の上に端材を乗せてビー玉をあちこち転がす遊びに夢中になる子、小刀を借りて黙々と剣作りに励む子、自分の遊びを自分で考え実行し決断する「遊びのPDCAサイクル（Plan（遊びを考えて）Do（やってみて）Check（振り返って）Action（次どうするか決める））」が回るようになっていました。

<今後>

初めて参加する人はプレーパークではなく公園に遊びに来た人が多く、午前も午後もスタッフやサポーターの支えが大切です。地域に溶け込んだ遊び場になるように皆で盛り上げていけるといいます。

## ＊さとくらし公園 第2木曜 4月～12月、2、3月開催 (5月・10月の午前中は千代田近隣公園で開催)

2022年度は天気に恵まれず、雨や風に悩まされた一年でしたが、天候の良い日はもちろん悪い日でも来る親子や小学生がおり、開催日を待ち望んでいるように感じました。

コロナ前によく来ていた子や数年ぶりに会う子などの嬉しい再会もありました。

特に賑わう午後は普段できないロープ遊具や木工などを楽しみにしている小学生が多く、高学年はドッジボールやバドミントンで盛り上がっていました。

毎年休みにしていた2月を開催する試みをしたところ、寒さに関係なく参加者がいつもと変わらず多かったので継続することの大切さを感じました。

今年度はサポーターが増えたおかげで心強く大変助かりました。

<今後>

午前中は初参加が多い月があるなどまだまだ子供が増えている地域であり、認知度の課題を感じます。

## ＊小鳥の森 第3木曜放課後通年

初めて小鳥の森に入った時のこんな素敵なおところがあるんだ！という感動が、何回入っても変わらない場所です。

見た目も匂いも移りゆく季節の中で、花を探し、走り回りロープを付けての大冒険が出来ます。楽器に絵の具、初めて木工を体験する子もいました。お土産ができると嬉しそうです。お絵描きができる黒板プレーカーには、みんながワクワク描きに来てくれました。チョークが使い放題なもの、車にお絵描きができることも、そんな夢みたくいことも実現しました。

<今後>

自治会の活動に参加をして、地域の大人に活動を知ってもらうこと。幼稚園の友だちを誘いながら小さい子を誘っていきたくです。

言葉では伝わりにくいことも、実際足を運ぶことで楽しい感じが伝わるはず。一度ぜひ来てみてください♪と声をかけ続けたいと思います。

## ＊鷹の台公園 第4木曜 4月～12月、2、3月

低学年の常連が定着していて、放課後に自由な遊びが繰り広げられています。子どもだけで遊びを展開していく姿や、異年齢で誘い合い遊ぶ姿が見受けられ、自由な遊び場として地域の子ども達に定着してきたと感じています。また今年は、嬉しいことに公園内をお散歩中の方にも声をかけていただく機会が何度もありました。

<今後>

午後みの開催のため保護者や地域の大人の参加が少なめなので、来年度はプレーパークに興味を持ってもらえる大人をもっと増やしていきたいと思っています。

## ＊乳幼児イベント「もりのわ」開催 6月7月・9月～3月 毎月第1月曜日

2022年は、常連ママさんたちがもりのわのサポートに加わり、プレイワーカーだけでなくサポートの人たちに支えられて開催することができました。

初参加の人たちからは「1人で行くのは不安だったので待ち合わせして一緒に行ってくれるのがありがたいです」、「ずっと行きたいと思っていたので行くきっかけになりました」など、わろうべの里へお迎えに行くことの意義やどんぐりの森に行ってみようというきっかけ作りの役割を果たせたのではないかと思います。

<今後>

毎回、制作などのイベントを立てていましたが2023年は特別なイベントを毎回立てるのではなく、お迎えに行くことは継続し、内容としては普段の遊びの中で季節を感じられる事は展開していきたいと思っています。



### ①参加団体

- 子育てサポートとして
- あそぼーよ
- よつかいどう野外保育さとのたね
- 四街道こどもまちづくりプロジェクト
- さくら総合発達支援センターホープ
- テンダーラビング保育園わらび
- 放課後等デイサービスパフ大日
- AIAI NURSERY四街道めいわ

### ②サポーターカフェ 3月3日(金)実施

### ③もりのわ「ふんわり座談会」 実施せず

### ④他地区へ出張プレーパーク

四街道こどもまちづくりプロジェクト プレーパーク開催  
10月29日(土) 30日(日)

### ⑤支援センター共催プレーパーク

- 千代田保育所子育て支援センター 5月12日(木)
- 〃 〃 10月20日(木)
- 中央保育所パパと森で遊ぼう 9月17日(土)



## (2) 子どもの育ちに関わる研修会の企画、参加

### ①プレイワーカー研修

- 4月 運営について
- 6月 道具の使い方
- 8月 救急対応
- 10月 プレーパークあるある(ロールプレイ)
- 12月 焚き火の取り扱い
- 2月 1年の振り返り

### ②千葉県冒険遊び場ネットワーク合同研修

- 5月 プレーパークについて
- 7月 リスクとハザード
- 9月 子どもの発達
- 11月 遊び研究(実地研修)
- 1月 プレーパーク運営

サポーターカフェ



## (3) 環境保全事業

### ①プレーパークの整備

プレーパーク内の整備及び、中学校の駐車場、皇産霊神社の田んぼの草刈り、プレーカーの維持管理など、お父さんスタッフが一年を通して手入れをしています。  
本年はデッキの修理も行いました。

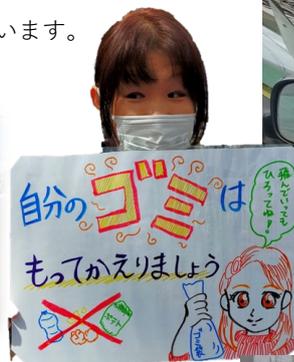
### ②やまなし「月見の里」の整備

月に1回、四街道市山梨地区の里山整備に協力しています。



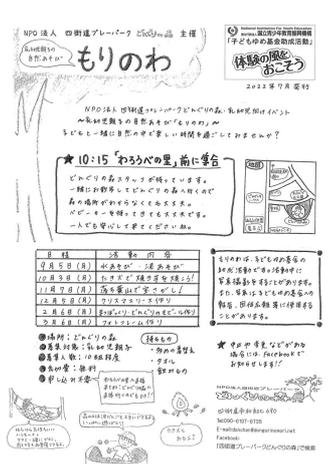
日常の手入れはサポーターてつさんがしてくれました

木工クラブさんの指導でデッキの修理



#### (4) 会報の発行及びホームページ等による普及啓発事業

「森だより」は4回発行。市内小学校に配布。乳幼児イベント「もりのわ」の便りは2回発行。年次報告書を作成。ホームページ、Facebook、Instagramは随時発信。動画も多数配信しました。卒業/入学時にはお祝いのメッセージを市内小中学校へ届けました。



Instagram  
フォロワー608人



ホームページ



Facebook フォロワー1,614人



YouTubeチャンネル登録者数 174人

## (5) 地域コミュニティ創出のための事業

- ちば学リレー講座2022 6月25日(土)  
ちばの「あそび場」～プレーパークについて考える  
講師：千葉明德短期大学由田先生、なかじも講師で参加
- ミニわらびふるさと祭り 7月30日(土)
- 森まつり 9月23日(金)
- 音フェス 3月11日(土)
- 餅つき 3月31日(金) 餅を搗いてお汁粉などを提供



わらびふるさと祭り

### 参加団体に聞きました！どんぐりの森ってどんな場所？

プレーパークは子どもの『やってみたい!』を応援できる場所と思います。自然の中で五感で感じ、危険の察知を学んだり「やってみたいという気持ち」「自ら育とうとする力」となる原動力になっているのだと感じました。様々な遊びの中で経験のないことに挑戦し、自分の世界を広げようとする気持ちをプレーパークに参加することで積み重ねて行きたいです。一人では出来ない遊びはみんなと一緒に。身も心もゆったり森に委ねると、自然に笑顔が生まれ子供だけではなく、私達大人もたくさん気づかされる場所です  
(放課後等デイサービス パフ大日さん)



### 参加者の声



けがと弁当は自分もちというコンセプトに救われました。私の不注意でブランコが当たってしまったときも、「遊びに怪我は付き物なので気にしないでください。」とのあたたかい言葉をいただきました。利用者や近隣住民への配慮からか、子どもたちが思い切って遊べなくなるような細かいルールが並べてある公園が多い中、大人も子どもも自由な遊びの中から、遊びのルールを学んでいく、そういう場が残されているのは、本当にありがたいです。(参加者Hさん)



高校生になってプレーパークに顔を出してくれた!



とことん遊ぶほど楽しい!



## (6) その他の事業

### ①若者支援

第一土曜日、第2～4金曜日、みむすび神社協のやすらぎの家にて若者へ向けた居場所事業を開催しました。

食材はわくわく広場、地域の農家さんからの寄付、四街道市社会福祉協議会のフードバンクを利用しました。

公益財団法人オリックス宮内財団、千葉県社会福祉協議会からの助成を受けて実施しました。

- 室内の居場所スペースづくり
- 地域とつながるマルシェ 5月8日(日) 出店



節分の鬼役で活躍の高校生

### ②取材、視察、ボランティア、学生受け入れ

- 千葉明德短期大学
- TOKYO FM サステナデイズ取材協力 10月3日
- 千葉県立四街道高等学校
- 千葉県立四街道北高等学校
- 千葉県立検見川高等学校
- 四街道市社会福祉協議会ボランティアセンター

### ③地域イベントへの参加・協力

- みんなで人権を考える会(通年)
- 千葉県冒険遊び場ネットワークこあつまり(通年)
- ふるさとまつり「いろどりプロジェクト」参加
- 四街道こどもまちプロジェクト・ウォークアドベンチャー

### ④プレイリーダーハウスの修繕(延期)

### ⑤どんぐりの森のスタッフを広げ、今後の運営を考える話し合いの会

「森カフェ」を開催

### ⑥賛助会員「ともだち100人プロジェクト」実施

### ⑦高久さんに感謝する会

5月21日開催

長年プレーパークの維持に尽力してきた高久さんに感謝する会を実施。写真を持って高久さんのお宅を訪問しプレーパークとオンラインで繋ぎ、感謝の気持ちを皆でお伝えしました。

### ⑧ありがとうプレーカー

関口さん(プレイヤーカーメンディのお父様)から寄付していただいた初代プレーカー。2017年より6年間出張プレーパークの荷物を運び、市内に遊び場を届けてくれました。その回数は6年間でなんと252回!!! 2023年3月4日にはみんなで「ありがとう!プレーカー」のイベントを開催しました。

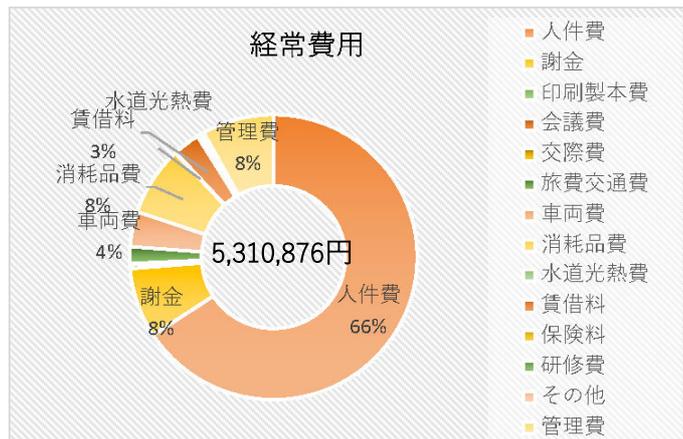
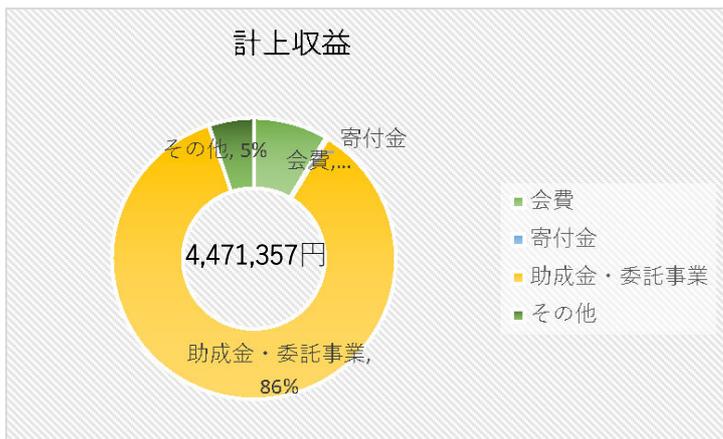
### ⑨助成金

独立行政法人 国立青少年教育振興機構「子ども夢基金助成金」より

- 「乳幼児親子の自然あそびもりのわ」
- 「小鳥の森(栗山)子どもの居場所プレーパーク」 実施



## 2. 団体運営状況の概要



## 3. 次年度の活動予定

- 冒険遊び場プレーパークの開催  
四街道市プレーパーク事業受託
- 里山手入れ等環境保全事業
- 地域コミュニティー創出のための事業  
他団体との連携
- 子どもの育ちに関する講演会、研修会などの企画
- 会報の発行及びホームページ等による普及啓発事業
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業  
若者支援事業「中高生のフリースペース ぶらっと」



長くプレイワーカーを務めてくれた  
こばちゃん、ごちゃんが3月にプレイ  
ワーカーを卒業しました。いつもあつ  
たかな笑顔をありがとう～❤️

年次報告をまとめて・・・  
今年は感謝感謝のプレーカーを表紙に選びました。実は日常のさりげない写真を選  
ぼうとしましたがインパクトがなくて表紙には向いていませんね。年次報告書に掲載  
した写真は一年間撮りためた中のごく一部。プレイワーカーが撮りためたあの写  
真を大きく引き伸ばして多くの方に見てもらいたいなあ・・・ (こばちゃん)

### 賛助会費を募集しています！～子どものあそび場をサポートしませんか？～

- 賛助会費：年間3000円/1口
- 振込口座 千葉銀行 四街道支店 普通 4340986  
特定非営利活動法人四街道プレーパークどんぐりの森 理事 古川美之  
トクヒ) ヨツカイドウプレーパークドングリノモリリジフルカワミユキ

賛助会費は備品購入・通信費に使わせていただき、「どんぐりの森だより」や「年次報告書」等  
にて活動報告や学習会・視察の案内を致します

PayPay支払いもできます。

PayPayでお支払いの際は、下4ケタの番号を控えて  
会費申込フォームにご記入下さい。

ぜひ、よろしくお願いいたします。



PayPay支払い



会費申込フォーム

発行

NPO法人四街道プレーパークどんぐりの森

TEL 090-6196-6735 mail playparkdongurinomori@gmail.com

HP <https://dongurinomori.net/> Facebook, Instagram

四街道どんぐりの森 検索

